

読書の秋 本で語ろう

鹿兒島工業高等学校 学校図書館司書 西村 真美

「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーとする知の書評合戦「ビブリオバトル」を知っていますか。私は今年の夏、おもしろそうな本との出会いを求めて、鹿兒島県高校生ビブリオバトル大会の観戦に行ってきました。発表者は29人の高校生たち。それぞれが好きな本について語る楽しさ、目を輝かせる姿が印象的で、観戦後、私の読みたい本リストに数冊が加わることになりました。

また、今大会では、作家・町田そのこさんの講演会も行われました。読者からの手紙に関するエピソード、執筆の心構えなど、いろいろなお話を聞くことができた、とても貴重な体験でした。さて、本屋大賞を受賞した『52ヘルツのクジラたち』と同様に、『星を掬う』も『宙ごはん』も家族の在り方や血のつながりに悩みを抱える人たちの物語です。そして、過酷な現実や分かり合えない人に深く傷つけられて、それでも人とながつながって生きていこう

と前を向く姿に、強く、心を揺さぶられる物語です。本を読んで、登場人物の悲しみや怒りを追体験することは、自分の気持ちを理解したり、身近な誰かの気持ちを想像したりする手助けになつてくれます。ぜひ、高校3年間に、たくさんの本と出会ってほしいと思います。読書の秋、御家庭でも、お互いの好きな本の話をしてみてはいかがでしょうか。



町田そのこさん作品紹介展示